

統合準備会だより 向中・鐘中

平成23年4月28日

～輝く未来を築くために～

第2号

(発行) 向島中学校・鐘淵中学校 統合地域準備会事務局

(墨田区教育委員会事務局庶務課区立学校適正配置担当) TEL:5608-6497

先の東日本大震災に被災された皆様に、心からお悔やみとお見舞いを申し上げます。被災地の一日も早い復興をご祈念いたします。

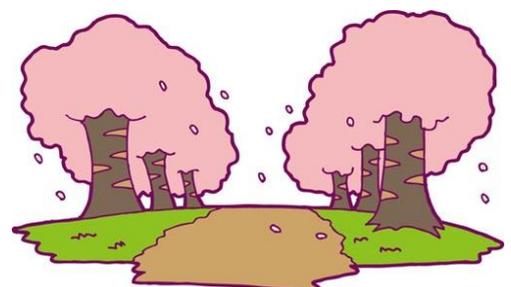
統合新中学校の校名がまとまりました！

さくらつつみちゅうがっこう
「桜堤中学校」(仮称)

平成25年の向島中学校と鐘淵中学校の統合へ向けて統合地域準備会では校名や校章・校歌等の話し合いを進めています。校名については、皆様からいただいたたくさんの応募をもとに検討を重ねてきました。応募総数181票、87の校名候補のなかから、まず5つの候補へ絞込み、そこからさらに候補数を絞りながら投票・意見の集約を図りました。そうして準備会の協議の結果、新校の名は「桜堤中学校」とまとまりました。

歴史を紐解くと、墨堤の桜は、江戸時代、4代将軍徳川家綱が常州桜川（現茨城県桜川市）の桜を植えさせたのが始まりとされています。今では桜橋の北あたりから枕橋の付近が桜の名所としての景観を見せていますが、そもそもは木母寺付近が最初に植樹された地であったようです。時代の流れと共に桜は増し植えされ南へと広がり、震災や戦災などの歴史を経て現在のような形となりましたが、桜を愛するその気風はしっかりと地域に受け継がれてきました。新校は歴史ある「向島」や「鐘ヶ淵」の名を内に秘め、墨堤の桜発祥の地を誇りに「桜堤」の名を冠します。

教育委員会において新校名の案として了承されたことから、今後は区議会で条例改正などの手続きを経た後に、最終的に確定されることとなります。



新しい校舎の整備

新中学校は旧堤小学校の位置に校舎を新築し開校します。この春の実施設計完了後、5月以降に旧堤小学校校舎を解体、秋頃から新築工事に取り掛かり、おおよそ2年間をかけて平成25年春の開校に合わせて新しい校舎が完成する予定です。

新校舎は中庭のあるRC構造4階建てで、普通教室は18学級まで対応可、一連の建物のなかには体育館や武道場、体育館の屋上部分にはプールを配し、災害発生時には避難所としてその機能が十分に活かせるような防災面にも配慮した施設としています。また、グラウンドは現在の堤小学校と同様に土のグラウンドとし、北側へ校舎を配置することによって南側グラウンドの明るい学校をつくっていきます。



(イメージ図のため変わることがあります)

統合へ向けた今後の動き

Aブロックにおける今後の教育のあり方に関する協議会

統合まであと2年、施設整備が進むなか、統合地域準備会では新しい中学校のコンセプトや新校の誕生と共に完成をみるAブロック（統合新校「桜堤中学校」（仮称）と「第二寺島小学校」「隅田小学校」「梅若小学校」の3つの小学校で構成される学校群）の中での小中連携を視野に入れた教育のあり方など、学校・地域関係者で協議を行っていきます。3月3日には統合地域準備会の分科会組織として第1回目の当協議会を開催し、現在の課題やこれからの向かうべき方向性について各委員から意見が述べられました。今後協議を重ね今秋頃までに一定の方向性を見出し、新しい学校づくりに活かしていきます。

新校の校歌・校章

平成23年度以降、新しい校歌や校章について協議し決定していく予定です。

向島中学校・鐘淵中学校 統合地域準備会委員 ◎委員長、○副委員長 (敬称略)

PTA	(向島中) 箕形 浩、大菅京美、横田由香、中村球美、伊東芳美 (鐘淵中) 渡邊由己、長岡眞澄、浅井幸江、岡本百代、福本雪枝
PTA顧問会	◎福永 勝(百花の会)、會田吉臣(鐘友会)
小学校PTA	南風盛智子(二寺小:会長)、足立貞治(梅若小:会長)、印田育子(堤小:会長) 北澤延浩(隅田小:会長)、島田正雄(隅田小:顧問)
町会・自治会	本田滝男(堤通二丁目3・4自治会)、山本博久(寺七西町会会長) 高橋一夫(玉の井町会会長)、戸田好昭(隅田中睦町会会長) 北村嘉津美(鐘ヶ淵町会会長)
育成委員会	古川禎勇(向島中地区)、○横川 隆(鐘淵中地区)
学校運営協議会	櫻井 茂(向島中)、大場 章(鐘淵中)
向島中学校	菊本和仁(校長)、木川卓也(副校長)
鐘淵中学校	杉山佳男(校長)、木下裕人(副校長)

(平成23年1月1日現在)